

令和5年度

社会福祉法人知多市社会福祉協議会

事業報告書

令和5年度 社会福祉法人知多市社会福祉協議会 事業報告

1 連携と協働の仕組みづくり

(1) 市民協働の推進

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	コミュニティ地域福祉活動推進事業	10コミュニティの地域福祉活動推進事業に前年度の会員募集で集めていただいた社協会費の20%をそれぞれ助成しました。	1,594,000	1,589,000	5,000
2	コミュニティ福祉活動協力事務手数料	共同募金運動(戸別募金)に協力いただいた地区へ、実績額の8%を協力事務手数料として支払いました。	372,000	343,875	28,125
3	総合ボランティアセンター管理運営事業	ボランティア活動の情報発信・交流の拠点として、幅広い活動支援を目指し、総合ボランティアセンターの管理運営を行いました。 相談件数：402件 派遣件数：308件 センター来館者数：2,795人 (平均233人/月) 登録：団体66グループ 個人91人 活動：団体819人 個人169人	1,179,000	952,456	226,544

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	ボランティア研修	<p>総合ボランティアセンター登録の団体・個人ボランティアを対象に、双方が学ぶことのできる研修及び意見交換会を開催しました。</p> <p>期日：9月20日 会場：市民活動センター 内容：知ろう！つながろう！フードバンクからボランティアへ 講師：横山嗣信（自立生活サポートセンター所長） 日比野徳男さん（つつじが丘子ども食堂代表） 柿田文子さん（ほっこり（シニア食堂）代表） 参加者：34人</p>	30,000	0	30,000
5	団体ボランティア協働事業助成金交付事業	<p>総合ボランティアセンターに登録する団体ボランティア活動を活性化させ、地域福祉事業を共に推進するために協働で事業を行いました。</p> <p>助成額：100,000円上限 交付団体：ガールスカウト愛知県第95団 100,000円 パパママ学級 知多～産前産後ケア～ 100,000円</p>	200,000	200,000	0

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
6	団体ボランティア運営費等助成金交付事業	<p>総合ボランティアセンターに登録する団体ボランティアの活性化のため、助成金を交付しました。</p> <p>運営費助成登録 1 団体5,000円 ボランティア連絡協議会加盟 1 団体5,000円(追加申請可) 交付団体：15団体 合計：95,000円</p> <p>備品購入費助成 対象：ボランティアセンター登録団体 助成額：100,000円上限 採択団体：点訳サークルてんてん 56,360円 若者応援隊「まなざし」36,300円 南巽サロンの会 100,000円</p>	550,000	287,660	262,340
7	総合ボランティアセンター関連会議・研修	<p>職員の資質向上のため会議、研修会へ参加しました。また、団体ボランティアの各種表彰の受賞にあたり、表彰式出席のための旅費を支給しました。</p>	48,000	35,200	12,800

(2) 関係団体などとの連携の推進

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	市民活動支援事業 ～活動支援を通じた人材育成～	<p>市民活動センターに拠点を置く総合ボランティアセンター、地域福祉サポートちた、市民大学ちた塾と実行委員会形式で市民活動の支援を通じ人材育成を行いました。</p> <p>期間：8月19日～3月18日 (全19回)</p> <p>会場：市民活動センター他</p> <p>参加者：延べ889人</p> <p>内容：市民活動センターまつり、情報発信ワークショップ、月曜学習室他</p>			実行委員会では予算計上

(3) 活動・交流拠点の確保

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	ふれあい・いきいきサロン事業	<p>町内会などで地域住民が気軽に交流できる場の開設支援・情報提供・活動支援を行いました。</p> <p>市内 48か所</p> <p>新規サロン：愛水館サロン(八幡)、西巽が丘サロン(東部)</p>	152,000	52,640	99,360

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	総合ボランティアセンター運営委員会	<p>ボランティア活動を推進するために総合ボランティアセンターの運営、活動及び事業について各種団体などで構成された運営委員会で検討しました。</p> <p>運営委員会：3回</p>	1,000	0	1,000

(4) 福祉教育の充実

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	青少年ボランティア・市民活動体験事業	<p>青少年を対象に団体ボランティア、NPO、福祉施設などでボランティア活動を体験する機会を提供しました。</p> <p>期間：8月1日～8月31日 体験施設・団体数：36 参加者：延べ218人、 実人数160人(中学生57人 高校生100人、一般3人)</p>	155,000	90,095	64,905
2	ふくし川柳	<p>市内の小・中学生を対象に日常生活や実践教室などで感じたことを五・七・五の川柳として募集し、優秀者などを表彰しました。</p> <p>応募総数：2,037作品 特選3作品・秀作6作品 佳作6作品</p>	98,000	96,151	1,849

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	社会福祉協力校事業(実践教室・社会福祉図書事業)	<p>市内の小・中学校の児童生徒を対象に、福祉に関する実践体験、気づき、振り返りを行い、障がいのある方などとふれあう機会を提供しました。また、社会福祉への理解と関心を高めるため市内の小・中・高など学校へ福祉に関する図書などの教材を配りました。</p> <p>実践教室 助成額：各校50,000円 学校数：小学校10校 中学校 5校</p> <p>体験学習 内容：講話・車いす体験、手話・点字、ガイドヘルプ、要約筆記、介護体験、災害救援、高齢者疑似体験など</p> <p>長期プログラム 内容：防災理解・高齢者理解・障がい理解プログラム(年間)</p> <p>社会福祉図書事業 助成額：20,000円上限 配布数：小学校10校、中学校5校、高等学校1校</p>	1,342,000	1,266,042	75,958

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	福祉教育セミナー	<p>福祉教育に携わる関係者を対象に、学校・地域住民・行政・社協が一体となって進める福祉教育のあり方や視点を学ぶセミナーを開催しました。</p> <p>期日：8月8日 内容：「『ふくし』を伝える福祉教育～知多市の福祉実践教室の歴史をひも解いて～」 講師：河村康英(社会福祉協議会ふくし総務課長)</p>	117,000	0	117,000
5	民間保育所助成	<p>市内の民間保育所7か所へ、遊具や絵本などの購入費用を助成しました。</p>	192,000	174,626	17,374

2 必要な支援を受けられる環境づくり

(1) 包括的な支援体制の構築

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	あんしんとなり組・避難行動要支援事業	<p>町内会単位であんしん見守りネットワーク活動の普及を図るため、各地域で座談会及び全体研修会を開催しました。</p> <p>確認書締結地区：70町内会 あんしんとなり組・避難行動要支援事業研修会 期日：1月13日 内容： 「災害時に誰一人取り残さない社会を目指して～避難行動要支援者の個別避難計画と介護サービス事業所BCPについて～」 講師：鍵屋一さん (跡見学園女子大学 教授) 参加者：会場106人 オンライン25アカウント (確認書締結地区役員、民生委員児童委員、市・社協職員)</p>	204,000	135,730	68,270

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	傾聴ボランティア訪問支援事業	<p>高齢者、障がい者、又はその家族を傾聴ボランティアが訪問し、話を聴くことによって相手との信頼関係を築きながら、孤独感や不安などを和らげることを目的に行いました。</p> <p>傾聴ボランティア訪問支援 内容：概ね月2回利用者宅などを訪問 活動者：傾聴ボランティアうさぎ 利用料：無料 登録利用者数：6人 打合せ会：月1回</p> <p>ボランティアフォローアップ研修 内容：認知症の事例を通じた理解講義</p>	5,000	4,400	600
3	買物支援ボランティア派遣事業	<p>高齢者などの買物弱者を地域ぐるみで支えるために、買物支援ボランティアを派遣し日常生活の支援を行いました。</p> <p>活動日：月～金曜日 10:00～16:00(週1回1時間程度) 利用料：100円+燃料費200円 登録利用者数：5人 打合せ会：月1回</p> <p>ボランティアフォローアップ研修 内容：認知症の事例を通じた理解講義</p>	5,000	4,400	600

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	<p>知多市高齢者相談支援センター (知多包括支援センター)</p> <p>高齢者虐待相談センター</p> <p>認知症総合支援事業 (認知症地域支援・ケア向上事業) (認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業)</p>	<p>社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師などの専門職が高齢者の総合相談、介護予防サービスの総合的なマネジメントを行いました。また、高齢者虐待相談センター業務を市から受託し関係機関と連携を図りながら運営しました。</p> <p>相談件数：10,492件 (介護保険制度、認知症、生活支援などに関すること)</p> <p>高齢者虐待に関する相談：797件</p> <p>介護予防・事業対象者支援 計画作成件数：8,370件</p> <p>ふくし出張相談 市内5中学校区(毎月1回) 相談件数：57件</p> <p>出前講座 回数：13回 内容：高齢者相談支援センター活動紹介、介護保険、介護予防、認知症の対応など</p> <p>認知症介護者交流会 回数：12回 参加者：延べ57人</p> <p>認知症家族支援プログラムの開催 回数：6回 会場：市民活動センター 参加者：延べ103人</p>	173,298,000	153,805,820	19,492,180

認知症総合支援事業研修会
の開催

回数：2回

期日：5月23日

内容：認知症の周辺症状及
び望ましい意思を引き出す
対応方法について

講師：日本福祉大学中央福
祉専門学校専任教員

渡辺哲雄さん

参加者：112人

期日：7月28日

内容：高齢者虐待防止に向
けた早期対応と支援

講師：NPO法人福祉サ

ポートセンターさわやか愛

知 副理事長 丸山冬芽さん

参加者：108人

世界アルツハイマー月間
(9月)やアルツハイマー
デー(9/21・商業施設・中
央図書館にて出張相談35
件)に啓発・相談を実施

認知症カフェの開催

回数：29回

参加者：延べ126人

チームオレンジの支援
八幡地区をモデルに認知症
の人や家族の支援ニーズに
基づくステップアップ研修
を実施

期日：7月8日

参加者：28人

チームオレンジメンバー：
14人

チームオレンジメンバー打
合せ：4回

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	若者未来応援事業	<p>若者応援隊「まなざし」、サポートネットゆっか、市社会福祉協議会、ユニックス株式会社(青少年会館指定管理者)の4者による実行委員会形式で市から受託し、ひきこもり・不登校支援事業を実施しました。</p> <p>若者サポート進路を考える会 期日：9月24日 内容：当事者体験談、学校の紹介、進路相談 参加者：会場63人 オンライン7アカウント</p> <p>若者サポートセミナー 期日：1月21日 内容：「不登校ひきこもりの親が幸せな理由～安心の場がもたらす変化とは～」 講師：笑いのたねプロジェクト代表 後藤誠子さん 参加者：会場72人 オンライン38アカウント</p> <p>啓発活動 内容：ひきこもり支援リーフレット配布 部数：1,000部</p>			実行委員会です算計上

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
6	生活支援体制整備事業（第2層コーディネーター）	<p>中学校区域（第2層）の生活支援体制を構築するために、地域診断、社会資源の開発、担い手の養成・発掘などを行いました。</p> <p>担当地区： 八幡中学校区 東部中学校区</p> <p>生活支援協議体委員会 生活支援コーディネーター 第1層・2層会議 回数：12回 コーディネート業務 八幡中学校区 （八幡地区） あんしんとなり組事業 取り組み方法の協議 八幡中学校区 （つつじが丘地区） 朝倉団地コミュニティ スペース運営支援 つつじが丘お助け隊運 営支援 東部中学校区 （東部地区） サロンへの定期訪問 サロンの立上げ支援 あんしんとなり組事業 取り組み方法の協議</p> <p>研修 （1） 期日：7月8日 内容：地域みんなの暮らし ぶりを守り続けていくた めに 会場：メディアス体育館ち た 大会議室 講師：酒井保さん 参加者：28人</p>	7,400,000	7,400,000	0

(2)
期日：11月20日
内容：アフターコロナの
「つながりを切らない地域
づくり」
会場：つつじが丘コミュニ
ティセンターホール
講師：酒井保さん
参加者：28人

(3)
期日：11月22日
内容：認知症×東部チャレ
ンジワークショップ
会場：東部まちづくりセン
ター
講師：酒井保さん
参加者：18人

□

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
7	生活支援体制整備事業（協議体運営支援事業）	<p>地域における生活支援サービスやネットワークを構築するために、市域の協議体（第1層）の企画運営に継続参加し、社会資源開発、人材育成、関係機関との調整・連携、広報などを行いました。</p> <p>会議 生活支援協議体委員会 回数：4回 生活支援コーディネーター第1層・2層会議 回数：12回</p> <p>広報 「ちたのふくし」に「地域包括ケアシステムだより」を年4回掲載</p> <p>地域共生社会づくりフォーラム 期日：12月23日 会場：勤労文化会館やまももホール 内容：こども食堂と私たちの地域・社会 講師：湯浅誠さん （認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長） 参加者：会場 180人 オンライン 13アカウント</p> <p>ちたのお宝発表会 期日：3月10日 会場：メディアス体育館ちた大会議室 内容：地域の中の住民主体のつながりについて 講師：酒井保さん （ご近所福祉クリエーター） 参加者：会場 70人</p>	1,440,000	1,440,000	0

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
8	生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業）	<p>生活困窮者に対して相談支援員が困りごとを整理し、自立に向けた個別プランを作成しました。また、関係機関と連携し、課題解決に向けた支援を行いました。</p> <p>新規相談人数：214人 相談実人数：459人 相談対応件数（延べ）：2,611件 住居確保給付金申請：5件 住居確保給付金（延長）：2件</p>	18,370,000	16,296,775	2,073,225
9	生活困窮者自立支援事業（無料職業紹介事業）	<p>自立相談支援事業の利用者を対象に、その方の希望や特性に合わせた求職活動、事業所の開拓などを行い、求人情報をホームページや掲示板などで公開し、就労斡旋を行いました。</p> <p>相談件数：403件 求職登録者数：56人 求人登録件数：29件 就職者数：14人</p>			
10	生活困窮者自立支援事業（家計改善支援事業）	<p>相談者の家計の見直しや債務整理、税の分納相談に同行するなど、家計改善に向けて支援しました。</p> <p>家計改善プラン作成：9件 相談実人数：57人 相談対応件数（延べ）：352件</p>	6,317,000	5,962,640	354,360

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
11	フードバンク事業(チータンバンク事業)	<p>市と「フードドライブ事業に関する協定書」を締結するとともに、事業の普及啓発を行い、市民や企業から寄付いただいた食料品などは、生活困窮者や地域交流活動団体などへ配布しました。</p> <p>フードバンク：153件 地域交流活動支援：97件 フードドライブ：144件</p>	260,000	260,000	0
12	日常生活自立支援事業	<p>日常生活に不安を抱えている認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言、手続き、利用料の支払いなどを支援しました。</p> <p>利用契約者数：13人</p>	2,002,000	741,170	1,260,830
13	貴重品預かり事業	<p>高齢者、障がい者又は生活困窮者などで判断能力はあるものの、貴重品や金銭管理などの自己管理が十分に行えない方が、安心した生活を送れるよう支援しました。</p> <p>利用契約者数：2人</p>	17,000	5,250	11,750
14	法人後見事業	<p>認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者で意思決定が困難になった方の財産管理、身上監護などを行うため、法人として成年後見制度を利用し、本人の権利を擁護しました。</p> <p>法人受任件数：4人</p>	720,000	310,601	409,399

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
15	資金貸付事業	<p>低所得者・障がい者・高齢者に対する資金貸付と相談支援を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により特例貸付を利用した方に対し、相談・償還手続きの支援を行うことにより経済的自立や社会参加の促進を図りました。</p> <p>生活福祉資金 福祉費：1件 教育支援資金：1件 特例貸付 相談・償還手続き支援：395件</p> <p>つなぎ資金 貸付件数：8件 貸付総額：148,000円 償還件数：45件 償還総額：211,500円 償還免除：3件 償還免除金額：32,000円</p>	<p>14,283,000</p> <p>(内訳)</p> <p>生活福祉資金 10,775,000</p> <p>つなぎ資金 3,508,000</p>	10,645,022	3,637,978

(2) 情報提供の充実

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	社協だより「ちたのふくし」の発行	<p>社協の活動を市民に広く周知し、福祉への理解、関心を高めるために広報紙を4回、全戸配布しました。</p> <p>7月： 青少年ボランティア、決算報告、職員募集</p> <p>10月： 赤い羽根書道ポスター紹介、会員加入お礼</p> <p>1月： ボランティア講演会、ふくし川柳紹介、共同募金運動協力お礼</p> <p>4月： 福祉体験作文コンクール入選紹介、事業計画、予算、会員募集お願い、共同募金運動実績報告、能登半島地震災害義援金受付</p> <p>毎号掲載： 高齢者相談支援センター通信、自立生活サポートセンター通信、ボランティア通信、地域包括ケアシステムだより、ふれあい・いきいきサロンリレー、相談・居場所案内、寄附報告</p>	5,038,000	4,787,846	250,154

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	第23回福祉フェスティバルの開催	<p>市と共催し、市内における福祉事業や各種団体の福祉活動を広く住民に紹介することで、住民参加の増進を図るために開催しました。</p> <p>期日：10月28日、29日 会場：メディアス体育館 会場：メディアス体育館 会場：メディアス体育館 会場：メディアス体育館 会場：メディアス体育館</p> <p>入場者：25,000人 参加団体：50団体 内容：各種団体などの活動発表、福祉体験、ゲーム、施設紹介、事業紹介、福祉フェスティバル作品展他</p>	3,431,000	3,361,835	69,165
3	ホームページ事業	<p>ホームページ、インスタグラム、LINEなどのSNSを活用し広く、情報発信に努めました。</p> <p>内容： 各事業案内、募集、事業報告、収支決算、事業計画、収支予算、赤い羽根作品コンクール・ふくし川柳入賞 作品など</p>	266,000	260,696	5,304

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	視覚障がい者情報提供事業	<p>視覚障がいのある方に音訳・点訳により「ちたのふくし」・「広報ちた」などの情報提供を行いました。また、音訳情報のCD化と音訳図書を設置を総合ボランティアセンターで継続して行いました。</p> <p>利用者数：11人 発送数： [音訳数] 364本 [点訳数] 228冊 協力団体： 声のたより「青空」、 情報録音ボランティア 「じゅげむ」、「ルポ ン」、点訳サークル 「てんてん」</p>	137,000	36,960	100,040

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	情報誌発行事業	<p>総合ボランティアセンターに登録する個人・団体の情報を市民へ広く発信するために「ボランティアタウンちた」を発行しました。</p> <p>発行部数：「知りたい人、やりたい人編」500部、「してほしい人編」800部</p> <p>配布先：市内公共施設、民生委員などの関係者</p> <p>内容：センター利用ガイド、派遣手続き、グループ紹介</p> <p>ボランティア活動に関心を持ってもらうために、市内全戸配布の社協だより「ちたのふくし」に「ボランティア通信」を掲載しました。また、ホームページ・SNSを活用して情報発信をしました。</p> <p>発行回数：4回 (7月・10月・1月・4月)</p> <p>配布方法：全戸配布</p>	631,000	599,713	31,287

(3) 災害時の支援体制の整備

(単位:円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	災害ボランティアコーディネーター基礎力向上講座	災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者に基本的な演習の反復を通じて資質向上を図るよう、講座を開催しました。 期間：9～11月 回数：6回 講師：西川賢次さん（防災士）、河合美恵子さん（防災士） 参加者：28人 延べ人数：103人	164,000	161,000	3,000
2	災害時対応物品整備事業	災害時の社協の初動に必要な物品を備蓄しました。 購入物品：折りたたみヘルメット41個	254,000	200,354	53,646
3	災害救援ボランティア派遣事業	災害時に被災地支援としてバスを借り上げ、災害ボランティアを派遣しますが、5年度は、応援要請が無く実施しませんでした。 また、令和6年能登半島地震の被災地支援として、職員を2名派遣しました。	職員派遣の経費は県社協が負担		

3 誰もが参加できる活動の場づくり

(1) 健康づくり・介護予防の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	【収入】 介護保険外対応 ホームヘルプ事 業（生活応援 サービス「かが やき」）	入退院時や病院内の介助 など、介護保険制度では対 象とならないサービスを提供 しました。 利用回数：84回	252,000	232,590	19,410

(2) 生きがいつくりと社会参加の促進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	総合ボランティア センターミニ 講座	総合ボランティアセン ターに登録しているボラン ティアが講師・協力者とな り、日頃の活動を市民に広 く周知しました。 回数：21回 参加人数：延べ236人	—	—	—
2	移送サービス事 業 車いす貸し出し 事業	移送サービス事業 車いすを使用され外出が 困難な方に福祉車両の貸し 出しを行い、社会参加支援 を行いました。 福祉車両：車いす対応車両 2台 利用件数：49件 利用者登録数：30人 車いす貸し出し事業 高齢者、身体障がい者・ 傷病者の方などに車いすを 貸し出し、日常生活の便宜 を図りました。 保有台数：53台 貸出件数：222件	741,000	318,248	422,752

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	ひとり暮らし高齢者への年賀状郵送事業	ボランティアグループの協力を得て、ひとり暮らし高齢者789人に年賀状を通じた交流を行いました。	65,000	65,000	0
4	【収入】 障がい者居宅介護等事業	身体障がい、知的障がい、精神障がいのある方にホームヘルパーを派遣してそれぞれに応じた身体介護・家事援助などを行い、自立した生活の支援をしました。 利用回数：居宅介護3,461回 移動支援119回	20,393,000	16,520,241	3,872,759
5	母子家庭等日常生活支援事業	母子家庭・父子家庭などで就職活動、疾病、生活環境の変化などにより生活援助が必要な家庭にホームヘルパーを派遣して、保育、調理、洗濯などのサービスを提供しますが、利用はありませんでした。	1,000	0	1,000
6	各種福祉団体の支援	民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協議会、子ども会連絡協議会、遺族会の事務局として、団体の事業や運営を支援しました。また、助成金を交付し、活動を支援しました。 民生委員児童委員協議会 191,760円（運営費） 身体障害者福祉協議会 50,000円（事業費） 子ども会連絡協議会 67,000円（運営費） 子ども会連絡協議会 50,000円（事業費）	359,000	358,760	240

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
7	応援アンバサダー事業	アフターコロナを見据え、主に在宅でできる作成ボランティアを「応援アンバサダー」と称し、ボランティア活動の活性化を図りました。	50,000	41,795	8,205

(3) 多様なつながりと交流の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	ボランティア講演会	<p>ボランティアの輪を広めることを目的にボランティア連絡協議会と共催で講演会を開催しました。</p> <p>期日：1月27日 会場：知多市勤労文化会館 内容：講演「正しく知ろう！ヤングケアラー ～精神疾患の親をもつ子ども立場から～」 講師：坂本 拓さん 参加者：120人</p>	55,000	55,000	0
2	ボランティア連絡協議会への助成	<p>団体ボランティアで組織するボランティア連絡協議会に対して、事業・運営に関する活動費を助成しました。</p>	100,000	100,000	0
3	発達障がいサポーターフォローアップ事業	<p>発達障がいのある子どもとその家族を地域で支えるために、子どもの自己肯定感を育む居場所支援サポーターの養成・研鑽のために講座を開催しました。</p> <p>期日：8月1日 講師：森本陽加里さん （一般社団法人Focus on 代表理事） 参加人数：18人（内登録8人）</p>	35,000	35,000	0

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	フリースペース「ひみつきち」(発達障がい児居場所づくり事業)	<p>発達に不安のある子どもとその保護者とともに、一人ひとりが安心して過ごせる家庭的な居場所を設けました。</p> <p>回数：15回 開催：夏休み（6回）、第3土曜日（9回） 会場：福祉活動センター他 内容：レクリエーション、社会参加体験など 参加人数：利用者78人、家族42人、ボランティア119人（いずれも延べ）</p> <p>コミュニケーション講座 内容：親子で感情面でのコミュニケーションについて学び、相手のホントの気持ちに寄り添うことの大切さを学ぶ。 期日：7月29日、8月9日 会場：福祉活動センター 大会議室 講師：皿井啓之さん（心理カウンセラー／こころのオアシス主宰） 参加人数：15人</p>	183,000	82,040	100,960

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
5	フリースペース「まな」(ひきこもり・不登校居場所づくり事業)	<p>ひきこもり・不登校で悩んでいる本人や家族をありのままに受け入れる居場所を設けました。</p> <p>回数：24回 開催：毎月第2・4土曜日 会場：福祉活動センター、ねっとMURA 内容：自由に話し合える居場所とレクリエーション(第2土曜日) 食事作り、中間就労体験、地域サロンへの参加など、食を通じた交流(第4土曜日) 参加人数：利用者103人、ボランティア123人、見学者・協力者30人(いずれも延べ)</p>	130,000	107,139	22,861
6	長期・年長ひきこもりを抱える家族の集い	<p>ひきこもりの子を持つ家族同士が悩みなどを自由に話し合うことで、ひきこもる本人に対する理解を深め、対応の仕方などを情報交換したり、家族自身の持つ力を取り戻すために開催しました。</p> <p>回数：4回 開催：5・8・11・2月 第4火曜日 参加人数：20人</p>	20,000	0	20,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
7	障がいについて考えてみよう会	<p>障がい者本人や家族が交流会を通して、悩みや困りごとを話し合いました。</p> <p>回数：2回 開催：10月・3月 内容：</p> <p>10月24日： 悩みや困りごとについてグループトーク 会場：福祉活動センター 参加人数：15人</p> <p>3月4日： 成年後見制度について (講師：知多地域権利擁護支援センター 理事長 今井 友乃さん) 会場：福祉活動センター 参加人数：20人</p>	146,000	0	146,000
8	障がい理解セミナー	<p>障がいを正しく理解するためセミナーを開催しました。</p> <p>期日：11月13日 会場：福祉活動センター 大会議室 講師：池邊 和美さん（なごみ行政書士事務所／なごみ相談サポートセンター 所長） 参加人数：33人</p>	62,000	10,000	52,000

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
9	地域食堂交流会	<p>「食」を通じた居場所活動として、物資支援、活動者交流、研修を定期的に行いました。食材の需給調整はフードバンクと連携しLINEでの食材情報提供を行い、関係者と連携を図りました。</p> <p>研修会 期日：9月27日 会場：メディアス体育館 ちた 講師：深谷 美子さん (NPO法人とまと食堂理事長) 内容：みんなの居場所「子ども食堂・地域食堂」から広がる交流の輪、トークディスカッション 参加人数：78人、オンライン2アカウント 食堂de寄り合い 年2回 期日：6月15日 2月20日 会場：福祉活動センター 参加人数：約20人</p>	39,000	10,000	29,000

4 信頼される社協づくり

(1) 組織体制強化

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	福祉功労者顕彰	福祉活動の功績が顕著な個人・団体などに、表彰状、感謝状の贈呈を行いました。 表彰：4件 感謝：4件	34,000	31,126	2,874
2	役員研修	理事、評議員に対して社会福祉協議会の歴史的変遷や求められる役割の変化、役員としての関りなどについて研修を行いました。 期日：9月13日 会場：福祉活動センター 内容：「これまでの社協の取組とこれからの社協の役割について」 講師：篠原 辰二さん (Wellbe Design 理事長)	80,000	80,000	0
3	職員研修	職員の資質向上のために一般事務員、高齢者相談支援センター職員、ホームヘルパー、コーディネーターを対象に組織的、職能的、技術的な研修を実施しました。 内容：職員全体研修、新規採用職員研修、キャリアパス研修、CSW研修、苦情解決事務担当者研修、東海北陸ブロック社会福祉協議会研究協議会など	217,000	75,820	141,180

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
4	福祉活動センターの管理運営	<p>福祉団体・ボランティアグループなどの活動拠点である福祉活動センターの指定管理を市より受託し、サービスの向上に努めました。</p> <p>年間利用者数： 1,292件 15,223人</p>	11,427,000	10,242,048	1,184,952

(2) 財源強化

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	会員募集	<p>自主財源確保のため、会員募集を各コミュニティを通じて行いました。また、加入促進を図るため、市内法人社、事業所などへ出向き直接依頼しました。</p> <p>会費収入 一般会員(500円) 14,477件 7,238,200円 特別会員(1,000円以上) 456件 452,100円 法人会員(3,000円以上) 159件 742,000円 合計 8,432,300円</p>	713,000	712,620	380
2	ちょこっと募金	<p>市内の店舗などにちょこっと募金箱を設置し、広く市民に呼びかけボランティア事業財源の確保に努めました。</p> <p>設置数：31店・6施設 募金額：116,068円</p>	58,000	49,109	8,891

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
3	自動販売機設置事業	<p>市内公共施設に自動販売機を設置し、収益を事業に充当しました。</p> <p>設置台数：市内5か所6台 設置場所：青少年会館、福祉活動センター、消防署八幡出張所、ふれあいプラザ、こども未来館</p>	484,000	417,926	66,074

(3) 介護保険等事業の推進

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	<p>障がい者相談支援センター</p> <p>特定相談支援事業</p>	<p>障がいのある方やその家族などへの情報提供、相談、支援を行う障がい者相談支援センターを3法人（知多福祉会、NPO法人びすた〜り、知多市社会福祉協議会）で共同運営しました。</p> <p>特定相談支援事業では、サービス利用計画の作成などを行いました。</p> <p>事業所名：障がい者相談支援センター 相談実人数（3法人）：1,673人 障がい者相談件数（3法人）：9,623件</p> <p>事業所名：障がい者計画相談支援事業所しゃきょう サービス利用など計画作成件数（計画案含む）：97件 認定調査件数：29件</p>	15,416,000	12,684,348	2,731,652

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
2	【収入】 訪問介護事業	<p>要介護の方の排泄などの身体介護、調理や洗濯などの家事援助、要支援の方の予防訪問介護サービスを提供しました。</p> <p>事業所名：社協ヘルパーステーション サービス提供時間：年中無休 7時～21時 訪問介護利用回数：5,247回 介護予防訪問介護利用回数：1,462回</p>	31,599,000	24,665,829	6,933,171

(4) 市民へのPR

(単位：円)

No.	事業名	内 容	予算額	決算額	差異
1	公式マスコットキャラクター活用	<p>知多市社会福祉協議会の認知度向上のため、マスコットキャラクター「チータン」を活用し、シールやメダルなどを作成し親しみやすい社協をPRしました。</p>	142,000	74,800	67,200